

1. 学習アドバイス

さあ山下クラス中上級労働基準法が開講します。すべては来8月末の試験合格のためのクラスです。8月の本試験から早いもので1月は経過しました。ドキドキで発表待ちの方、選択の1点で??の方、択一が伸びなかった方。さまざまな思いで今回山下クラスに参加されていると思います。数多くの合格者を出してきた実績があります。今回も開講するにあたり、受験生に信頼される講義を行います。毎年、これでよいのかと自分の講義を振り返り考えるプレッシャーが好きです。

★再受講生へ

試験の結果待ちの受講生、11月の結果が気になりますね。合格点に届いている可能性のある方は11月までの課題を持ちましょう。再受講生は、点数が伸びなかった原因を分析しましょう。どの科目が弱いのか。なにが理解できていないのか。しっかりと検証してください。そして自分の課題を出してください。例えば、問題演習の時間が足りない。あるいは特定の科目が苦手等。

★山下クラスとは

このクラスはもともとの出発が山下塾です。昔は担任制で全科目を一人で講義していました。皆さんは山下塾第17期生の受講生です。現在のクラスにも昔の塾特有の雰囲気があります。それは、仲間意識です。互いに受験生として同じ目標に向かい、努力し、刺激し合い、互いの学力向上を目指すクラスです。もちろん、目標は合格だけです。友人作りではありません。しかし、長丁場の期間1人で勉強を続けるのも精神的負担が大きいです。クラスの雰囲気はとて素晴らしいです。

① クラス全員の目標は合格です

②互いを刺激することで向上できる

② 受験指導の山下は皆さんのコーチである。

みんなで共に試験に挑戦します。学習アドバイスは4、気軽に読んでください。皆さんの受験勉強の参考になる話や、私の人生観やつぶやきコメントも記載します。回数は不定期です（たまにはサボります）。なるべく山下流の内容・文章にしていきます。

★通信制の方

通信生の方にも映像を通じて語りかけます。画面の前で頷いてください。水道橋夜のクラスで収録しています。私の前には多くの受講生がいます。全国の受講生を意識した学習アドバイスを行います。

2今回の山下クラスの目標

- ・レベルⅢの問題（正答率50%前後）をしつかり解く。解く。理解。理解。
- ・一般常識を早期に始める。
- ・科目横断を意識する。

- ①全員の目標は共通である
- ②互いを刺激することで向上できる
- ③受験指導の山下は皆さんのコーチである。

過去9年間の担任制での経験を生かし、みんなで共に試験に挑戦します。試験情報等の学習アドバイスは4年ぶりに復活します。気軽に読んでください。皆さんの受験勉強の参考になる話や、私の人生観やつぶやきコメントも記載します。回数は不定期です（たまにはサボります）。なるべく山下流の内容・文章にしていきます。

3 自己分析

★自己分析をしっかりと行い、時間をかけて確実に合格するための学習予定を早期に立ち上げましょう。

- ①今年の試験を検証したか
- ②次回の試験の対策は
- ③得意な科目と苦手な科目

お疲れ様でした。先月行われた本試験の結果が思わしくない方は、早速今年の試験結果を分析してください。メインテキストのどこから出題されたのか、直前講座山下道場の1.2.3を受講された方は必ずチェックしてください。分析ポイントは点数の問題です。

くやしくて、くやしくてたまらないと思います。特に合格まで点数といった結果であれば気持ちが重たくなります。ですが、なにが自分に足りなかったのか考えましょう。この反省が来年の合格を呼び込みます。例えば、合格点が46とします。自分が44点の場合、あと2点はどこが問題なのか、冷静に分析してください。例えば、文章の読み間違いが多い、基本事項が記憶されていない、問題演習の量が少ない、時間配分を間違えている・・・等です。

今年の試験で言えば徴収法は6点中何点でしたか？最後に書き換えた結果は？等々・・・です。

★今回受験した問題を点検しましたか？前回の自分の答案内容を細かく分析してみましたか？

1. 基本書（あるいは1.2.3）のどこから出題されたのか
2. 答案練習の類似問題
3. 取れる問題で失点した箇所

★あなたの弱点科目は・・・経験者の強みを出していますか？

4. 基準点の科目
5. 受験前からの苦手科目・不安科目

6. 過去の模擬試験での点数と今回の本試験点数

★受験直前でやり残していたことを思い出して整理してください。不安ばかり頭に浮かんでいませんか？

7. 頭の中を7月の直前期に戻し、やり残していた作業を書き出す
8. 数字・用語・横断整理等をチェックする
9. よく間違える問題

★各科目の理解していない箇所を書き出してみましょう。 6

例 労働基準法・通達の読み込み

10. 労働安全衛生法・健康診断の理解不足

11. 労災保険法・障害補償年金の理解不足

12 労働一般常識・労働経済・等々

★試験は運もある

試験は運もありますが、運は自分で作る。今までの勉強のなかでなにが足らなかったのか、しっかりとした検証が必要です。この試験は努力すれば合格できます。その努力の中身がポイントです。過去問の基本事項がいかにか鍵を握るのか、だんだんと見えてきます。講義中に私はあえて「ここは捨てる」と言います。ですが、本当に捨てていいのかな？と感じる受講生もいます。ここで割り切ることが45点突破のポイントでしょう。「あやふやな100の知識より、完全な50の知識で合格」と叫ぶのは、試験傾向がそうなっているからです。選択式は別の試験だと思ってください。日本語の試験です。今回の受験では昔の記述式対策を復活させます。ノート3冊以上に書いて書いて、記述式で覚えましょう。

① 再受講生は毎日毎日問題を4問解く。今日からです。受験は始まっています。いきなり問題に入りましょう。とにかく約1年かけて問題を解きまくります。過去問、前年の答案練習などやることはいっぱいです。

1日×4問×30日⇒120問×8月（来年5月まで）⇒960⇒約1000（これで絶対に択一は合格します!!!）

②特に点数がとれなかった科目は塾とは別メニューで対策を打ちましょう。その他苦手な箇所は早々に潰す。各科目の計算問題や高額療養費、傷病手当金、離婚分割・やることはたくさんあります。

③山下クラスのカリキュラムを基本にスケジュールを組み立てる

基本的事項の再確認。法改正。体系、論理的理解をしっかりと、地に足をつけた早期学習が次の成功を修めるカギとなります。

④受験を決めた以上最初の目的を見失わないこと。

再受講生の方はモチベーションの管理が大事です。再受講生のなかには複数回目の受講生の方もいるでしょう。決してあと数点だから直前に追い込めば何とかかなるという考えではダメです。今年の勉強量の1.5倍は必要です。前回勉強した知識や経験を無駄にしてはなりません。前回の受験をしっかりと検証し、反省の上にやるべきことをしっかりと決めましょう。

★また富士山登山が始まります。

前回の本試験ではある程度点数が取れた、まあ直前期になってから頑張ればなんとかなるだろう・・・では、再びその時期に時間が足らなくなる可能性があります。直前期に入ると心理的な焦りや不安が出てきます。早いうちから年間カリキュラムを作成し、勉強の方針を立てて学習を進めて下さい。再受講生は落ち込む時間はありません。1.2点で不合格だった人はたくさんいます。そういう試験です。また登山が始まります。今度はヒマラヤです。私と一緒に登りましょう。